



2023 S-FJ Japan League



2023 年 筑波・富士 S-FJ 選手権シリーズ 第 7 戦 富士スピードウェイ 2023 S-FJ ジャパンリーグ グランドファイナル

2023年 10 月 7 日 天候:曇り/ドライ 参加20台



テキスト:はた☆なおよき

5シーズン目を迎えたスーパーFJの全国戦は、名称を「ジャパンチャレンジ」から「ジャパンリーグ」に改めて、6大会8戦で競われる。第6大会「Grand-Final」は筑波・富士シリーズ第7戦と併せて、10月7日に富士スピードウェイで開催された。

筑波・富士シリーズのランキング上位陣が揃い、また他シリーズからの遠征もあり、サーキットこそ異なるが「日本一決定戦」の前哨戦とも言える一戦には、20台がエントリー。多いとは言い難いものの、フレッシュな顔ぶれもあって、レースは大いに盛り上がりを期待できそうだ。

なお、チャンピオン候補は、両シリーズとも極めて絞られており、まず筑波・富士シリーズは小村明生選手(F ガレージ with HC GALLERY)を逆転できるのは、武者利仁選手(ZAP SPEED RACorsa ED)だけで、しかも自身が4位に入れば決まりとあって、かなり精神的にも楽なはず。そしてジャパンリーグは2位、3位の選手が出場していないため、ポイントリーダーの白崎稜選手の対抗馬は4位の元山泰成選手(Ecotech Works Rac)、5位の磐上隼斗選手(アルビ富士吟景 GIA ED)のみ。白崎選手の自力決定は4位以上となっている。

またジャパンリーグには1位から6位にまで賞金が授与されるが、さらに今大会は「ドライバー・スターティングマネー」として、決勝をスタートした全ドライバーに3万円が与えられる。

公式予選

10 月ともなると、さすがに連日のように続いた真夏日から、ようやく解放されたよう。秋晴れの穏やかなコンディションで予選が競われた。しかし開始から 5 分ほどで赤旗が出され、計測がストップ。ダンロップコーナー脇でストップした車両があったからだ。幸い、すぐに回収されるも延長はなく、残り 10 分での慌ただしい状態でのアタック合戦となった。

先頭でアタックを再開したのは白崎選手。その後に小村選手や渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)らが続いていく。まずタイムを出してきたのは、もちろん白崎選手。1 分 51 秒 500 を出すも、直後に渡会選手が逆転し、1 分 51 秒 449 を記す。3 番手は小村選手で 1 分 52 秒 016。金曜日の練習時から、それぞれマークしあっていた3人が順当に並ぶ。

続いて渡会選手が 1 分 51 秒 146、1 分 51 秒 174 と好タイムを連発していたのに対し、先頭を走るからスリップストリームを使えない白崎選手は、同じタイミングで 1 分 51 秒 731、1 分 51 秒 392 を出すのが精いっぱい。そこで白崎選手はいったんクールダウンして間合いを整え、最後の1 周に賭けるも、1 分 51 秒 490 でタイムアップならず。このラストアタックでは、いったん 4 番手に退いていた小村選手が 1 分 51 秒 806 にまで縮め、3 番手に返り咲いていた。

ポールポジションは渡会選手が獲得。今年はシリーズを追いかけていないが、各シリーズにスポット参戦し、8 月の SUGO、9 月のオートポリスに続く3戦連続でのポールポジション獲得となっていた。

4 番手は 1 分 51 秒 866 を記していた小田優選手(AUTOBACKS ドラゴコルセ)で、今回がスーパーFJ デビュー。昨年の全日本カート選手権 OK クラス王者が、4 月から練習を始め、いよいよ実戦参加となったが、本人曰く、「まだ勝てるほどの速さを持っていないので、引き続き練習中ではあります。鈴鹿をほぼメインに、走行できる日は走っていました」という。5 番手は 1 分 51 秒 888 で、磐上選手獲得。ここまでが 1 分 51 秒台を記録していた。

ポールポジション:渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)

「富士はスーパーFJ」では今年初めてですが、VITA で何戦も走っているので、コースに慣れているという点では、誰にも負けていないと思います。スリップは使えましたね、前半のうちに。出て行った時は集団の中にいたんですけど、白崎選手がいちばん前を走っていたので、だったら僕はいちばん後ろで使わせてもらおうと。まわりの様子を見ながら、うまく集団の後ろを走ってタイム出せた感じです。コンマ 2 秒ぐらい離せましたが、決勝ではそんな差なんて、あっという間なので。スタートからどういう展開になるか分かりませんが、ペースはいいので、トップを守れたらいいな、と思っています」



予選 2 番手:白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)

「富士を走るのは去年の日本一決定戦以来で、しかもその時とはダンロップのタイヤも変わっていたので、昨日まではデータ取りに専念していました。基本、ずっと単独でした。最後にスリップ使わせてもらおうと思ったんですが、ちょっとダメでしたね。でも、全然戦えるスピードはありますし、マシンはいい出来です。ジャパンリーグのチャンピ



オン、もちろん意識しています。優勝して締めたいですね！」

予選 3 番手 小村明生選手(F ガレージ with HC GALLERY)

「富士自体、かなり久しぶりというのはあったんですが、ようやく最後にまとまったという感じで。ただ、まだまだ 2~3 周、全ドライバーそうだったと思いますが、タイムが上がりそうだったので、決勝が楽しみだなというところで終わっちゃった感じで。正直、この 2 日間の練習どおりというか、ふたり前に行ったんですが、真後ろにはいますし、決勝になればバトル始まっちゃうと思うので、プレッシャーをかけつつ！ アベレージを高くゴールまで表彰台へ、もちろん優勝目指して頑張ります」



決勝レース

予選に比べれば、若干雲が上空に被ったものの、爽やかなコンディションは決勝レースでもそのまま。最高のコンディションの中で 12 周による戦いが繰り広げられた。

好スタートを切ったのは白崎選手で、1 コーナーへのホールショットに成功。逆に渡会選手はやや出遅れ、小村選手と磐上選手の先行を許していたが、ヘアピンで磐上選手を抜いて、まず 3 番手に順位を戻す。

1 周目を終えた段階で白崎選手はコンマ 7 秒のリードを奪ったのに対し、2 番手争いが加熱。小村選手、渡会選手、磐上選手、板倉慎也選手(Racing F)、小田選手、元山選手が一系列で続く。2 周目のヘアピンで小村選手に並んだ渡会選手は、ダンロップコーナーまでに前に出る。が、その時点で白崎選手は 1 秒 1 ほど先を行っていた。

しかし、勢いに乗る渡会選手は 3 周目に、その時点でのファステストラップとなる 1 分 51 秒 476

を記して、白崎選手に接近すると、5 周目の GR スーパコーナでついにトップ奪還に成功する。一方、小村選手と磐上選手がいったんは後続を離しかけたが、バトルの激しさのあまり、また追いつかれていた。

トップに立った渡会選手ながら、そのまま逃げ切りは許されず。背後に着けて、白崎選手がチャンスを待つ。だが、渡会選手はまったく隙を見せず。白崎選手は最終ラップにファステストラップを 1 分 51 秒 109 と予選タイムをも上回り、コンマ 4 秒差にまで詰めたのが、せめてもの抵抗となった。



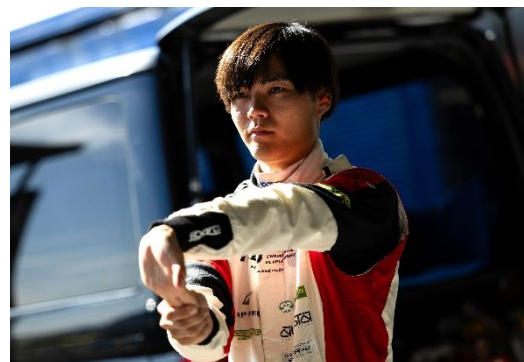
コンマ 038 秒差で元山選手が、そしてコンマ 013 秒差で小田選手が続いてゴール。やや置いて磐上選手、板倉選手の順でゴールした。なお、武者選手が 8 位だったことから、小村選手は最終戦を待たずして、筑波・富士シリーズのチャンピオンが確定した。同時に武者選手のランキング 2 位も。

一方、5 台による 3 番手争いは最後まで続き、いったんは磐上選手、小田選手の先行を許したが、最後の直線勝負で競り勝った小村選手が 3 位に、



ジャパンリーグは、白崎選手がチャンピオンを獲得。渡会選手は元山選手と 12 ポイントで並び、優勝回数で優ったことからランキングは 3 位まで上げていた。

スーパーFJ も各シリーズ1戦ずつ残すのみとなり、最後に控えるのが、12 月 9～10 日にモビリティリゾートもてぎが舞台となる「日本一決定戦」だ。今大会でおぼろげながらも、勢力図が見えてきた!?





優勝:渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)

「スタートは大失敗したんですけど、そこからペースも良くて、しっかり巻き返せたのは良かったと思います。セクター3 は練習の時からコツを掴んで、うまく利用して走れたと思います。これで FJ は3連勝できたので、この調子で残りどこのレースに出るか、まだ分からないですけど、出るレースはしっかり勝ちたいと思います。日本一は今のところ出る予定です。いい車とチームに巡り会えたので、チームに感謝です！」

2 位&ジャパンリーグチャンピオン:白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)

「スタートは良かったですねえ。良かったがゆえに、勝てなかったのが悔しいです。またマシンの組み立て方が見つかったのはいいんですけど、ジャパンリーグのチャンピオンを勝って決めたかったですね。でも、畑川さん主催の下、チャンピオンになれたことは光栄なので、チームの皆さん、スポンサーの皆さん、応援いただいた皆さんに感謝したいですね。鈴鹿シリーズと日本一も獲っていきます！」

3 位&筑波・富士シリーズチャンピオン:小村明生選手(F ガレージ with HC GALLERY)

「(筑波・富士シリーズのチャンピオンを)優勝して気持ちよく決めたかったですね(苦笑)。でも、鈴鹿勢は速いし、後ろもすごく勢いある若い子たちが、どんどんバトル仕掛ける中で、冷静に『おじさんパワー』で頑張りました。もう 31(歳)なので、彼らに比べれば。最後の最後、コントロールラインまで伸びには、すごく信頼があったので、狙いどおり最終コーナーからいい伸びで、本当に鼻差で 3 位に入れましたし、トップ2を逃しちゃいましたけど楽しめたので良しとしましょう！ 11 月のもてぎ最終戦出て、日本一っていう流れがいちばん理想なので、しっかり出られるよう頑張ります」



2023 筑波・富士S-FJ選手権/Super FJジャパンリーグ グランドファイナル

S-FJ 公式予選

2023 / 10 / 7 12:10



正式結果表

Weather :Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track :Dry

Pos	No	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h	
	1	6	渡会 太一	FTK レーシングカレージ	KK-S II	1'51.146	9		147.795
	2	91	白崎 稜	TAKE FIRST スタップリース		1'51.392	9	0.246	147.468
	3	52	小村 明生	Fカレージ with HC GALLERY	KK-S II	1'51.826	9	0.680	146.896
	4	34	小田 優	AUTOBACSTラコルセ	KK-S II	1'51.866	9	0.720	146.844
	5	36	磐上 隼斗	アルビ富士吟景GIAED	10V	1'51.888	9	0.742	146.815
	6	55	板倉 慎哉	Racing F	KK-S II	1'52.120	9	0.974	146.511
	7	15	武者 利仁	ZAPSPEED RACorsa ED	RD10V	1'52.234	9	1.088	146.362
	8	78	小田部 憲幸	いえらいふ ZAP シタラED	RD10V	1'52.272	9	1.126	146.313
	9	1	元山 泰成	Ecotech Works Racing F	KK-S II	1'52.291	9	1.145	146.288
	10	83	樺木大河	ZAP SPEED 10VED	RD10V	1'52.301	9	1.155	146.275
	11	79	中澤 凌	ZAP FOCS 10VED	RD10V	1'52.686	7	1.540	145.775
	12	5	梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	1'53.028	9	1.882	145.334
*1	13	86	村田 将輝	湘工冷熱ZAPSPEED ED	KK-S II	1'53.134	9	1.988	145.198
	14	8	野村 大樹	WRS NOMURA KK-S II	KK-S II	1'53.494	9	2.348	144.737
	15	21	太田 浩	ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	1'53.666	9	2.520	144.518
	16	3	秋山 健也	スーパーウィンス'KKS・ED	KKS	1'53.770	9	2.624	144.386
	17	47	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	1'54.372	9	3.226	143.626
*2	18	39	鈴木夢叶	新潟国際自動車コース'ED RD	RD10V	1'55.553	9	4.407	142.158
*3	19	38	中嶋 哲也	新潟国際自動車コース'EDKKS	KKS	1'57.636	7	6.490	139.641
***** 以上予選通過 (2'24.891 - 130%) *****									
*4	27	豊島里空斗	C.S.I.Racing ED		-	1			

★★★★ 以上予選通過 (2'24.891 - 130%) ★★★★★

2023 筑波・富士S-FJ選手権/Super FJジャパンリーグ グランドファイナル

S-FJ 決勝レース

2023 / 10 / 7, 5:45



正式結果表

Weather :Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track :Dry

Pos	No	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap	
1	6	渡会 太一	FTK レウレーシングカレージ	KK-S II	12	22'22.567	146.009		1'51.299	9	
2	91	白崎 稜	TAKE FIRST スタップリソース		12	22'22.987	145.964	0.420	0.420	12	
3	52	小村 明生	Ecレージ with HC GALLERY	KK-S II	12	22'38.040	144.346	15.473	15.053	7	
4	1	元山 泰成	Fototech Works Racing F	KK-S II	12	22'38.078	144.342	15.511	0.038	1'52.022	5
5	34	小田 優	AUTOBACSTD'ラコルセ	KK-S II	12	22'38.091	144.340	15.524	0.013	1'52.239	7
6	36	磐上 隼斗	アルビ'富士吟景GIAED	10V	12	22'38.913	144.253	16.346	0.822	1'52.073	2
7	55	板倉 慎哉	Racing F	KK-S II	12	22'38.938	144.250	16.371	0.025	1'52.422	6
8	15	武者 利仁	ZAPSPEED RACorsa ED	RD10V	12	22'42.055	143.920	19.488	3.117	1'52.718	10
9	79	中澤 凌	ZAP FOCS 10VED	RD10V	12	22'46.135	143.490	23.568	4.080	1'52.795	10
10	86	村田 将輝	湘工冷熱ZAPSPEED ED	KK-S II	12	22'46.645	143.437	24.078	0.510	1'52.938	2
11	27	豊島里空斗	C.S.I.Racing ED		12	22'46.800	143.421	24.233	0.155	1'52.661	8
12	78	小田部 憲幸	いえらいふ ZAP シタED	RD10V	12	22'49.893	143.097	27.326	3.093	1'52.783	6
13	83	樺木大河	ZAP SPEED 10VED	RD10V	12	22'55.719	142.491	33.152	5.826	1'52.727	9
14	21	太田 浩	ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	12	22'56.896	142.369	34.329	1.177	1'53.219	12
15	8	野村 大樹	WRS NOMURA KK-S II	KK-S II	12	22'58.940	142.158	36.373	2.044	1'53.857	6
16	47	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	12	23'02.874	141.753	40.307	3.934	1'54.089	11
17	3	秋山 健也	スーパーウインズ'KKS-ED	KKS	12	23'05.859	141.448	43.292	2.985	1'54.462	12
18	39	鈴木夢叶	新潟国際自動車ワコース'ED RD	RD10V	12	23'12.157	140.808	49.590	6.298	1'54.645	5
19	5	梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	12	23'12.955	140.728	50.388	0.798	1'52.649	12
20	38	中嶋 哲也	新潟国際自動車ワコース'EDKKS	KKS	12	24'06.046	135.561	1'43.479	53.091	1'57.766	6

★★★★ 以上完走 (規定周回数 10Laps) ★★★★★

